

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
M314M104		生命ホメオスタシス学 (Homeostasis)					コース共通専門分野								
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態							
必修	1	1	医学部先進医療科学科	後期	水5	日本語	英語	複数(共同)							
担当教員	氏名 井上 亮, 幸松 美智子 E-mail ryo@oita-u.ac.jp 内線 5051														
授業の概要	人体を理解するうえで必要な生理機能を疾患と結びつけて学修し、生理機能情報を収集するための理論と実際について理解を深める。各領域の主要疾患について、疾患概念、病因、病態生理と症候（症状と身体所見）、 検査所見、治療原則を人体の生理機能と関連付けて理解する。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	生体における正常な生理機能を理解する							○							
目標2	恒常性を維持するための情報伝達機構を理解する							○							
目標3	生理学の知識を疾病理解および病態アセスメントに生かす							○							
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度（計10）								10							
授業の内容															
1	中枢神経系の病態生理														
2	循環器系の病態生理														
3	消化器系の病態生理														
4	内分泌代謝系の病態生理														
5	感覚器の病態生理（聴力検査・味覚検査・嗅覚検査）														
6	運動器の病態生理														
7	小児疾患理解のための病態生理														
8	小児疾患理解のための病態生理														
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
ラーニング	A:知識の定着・確認	○	小テスト				工夫その他の								
	B:意見の表現・交換														
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	次回の学習内容について予習する（ 8 h ）。													
	事後学修	授業で学習した内容を復習する 8 h ）。													
	想定時間合計	16													
教科書	からだが見える - 人体の構造と機能 （2023） メディックメディア 清村紀子他編（2014）：機能障害からみたからだのメカニズム、医学書院														
参考書	なし														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	期末試験（筆記試験）		100%	○	○	○							
注意事項													
備考													
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	医師、看護師												
実務経験を いかした教育内容	各疾患の解剖、生理、病理、病態や治療について専門的見地から講義を行う。												